

平成15年10月23日（木）

第1、2校時（於：第2美術室）

第1学年1組 指導者 高野小百合

## I 題材名 「名画を推理しよう」（鑑賞）

### II 考察

#### 1 生徒の実態 （1年1組 男子21名、女子17名、計38名）

本学級の実態を見ると、家族で美術館に行ったことがあるという生徒はクラスに10名程度であるが、知っている作家はピカソやゴッホ、美術作品はモナリザ、さげびなどにすぎない。美術館での鑑賞の視点は「有名である」とか「伝統的だ」などという価値観で見ているのがほとんどである。実際見た作品は覚えていないが、広告やグリーティングカードなど、美術館とは違う場面で出会った作品が記憶の中にある。それは美術作品に出会ったとき、ただ何となく見ただけであり、心を開いて感じたり、頭を使って考えたりという体験を伴った深まりがないので、作品のよさや美しさをどう感じたか記憶に残っていないのである。また、美術館に行ってみたいかという問いかけに、「行きたいと思わない。」「面白そうではない。」と答えた生徒の方が多く、興味関心が低いのが実態である。しかし、写生大会の作品鑑賞では、友達の作品を見ることを楽しんでいる生徒が多い。何が描かれているのか、どのように描いているのか、目を凝らして近づいたり離れたりしながら、形や色、技法など自分なりの視点をもって真剣に鑑賞することができた。そこでは「丁寧で色がきれい」「本物みたいでいい」「葉っぱの色が一つ一つ工夫している」など、全体的な雰囲気や細部の描写について作品を見ていることが伺える。生徒作品の鑑賞では、作者と同じ視点で作品を見ることができるので親しみやすい。また、作品の主題も容易に理解できる。その点、美術作品は年代や国、表現方法など、作者の表現意図を理解するには文化的な違いもあり、生徒には分かりづらい面がある。しかし、鑑賞は本来、正解があるというものではなく、鑑賞者が自由に想像し、自分なりの見方や感じ方で解釈してよいものである。生徒の自由な見方や感じ方を大切に、想像力を働かせて作品の表現意図を読み解いていく楽しさを味わわせたい。そのためには、作品を詳しく見たり、よさや美しさを自分なりに感じ取る態度を身に付け、作品の見方や感じ方を広げていけるよう、鑑賞の基礎的能力を高めていきたいと考える。

#### 2 題材の考察

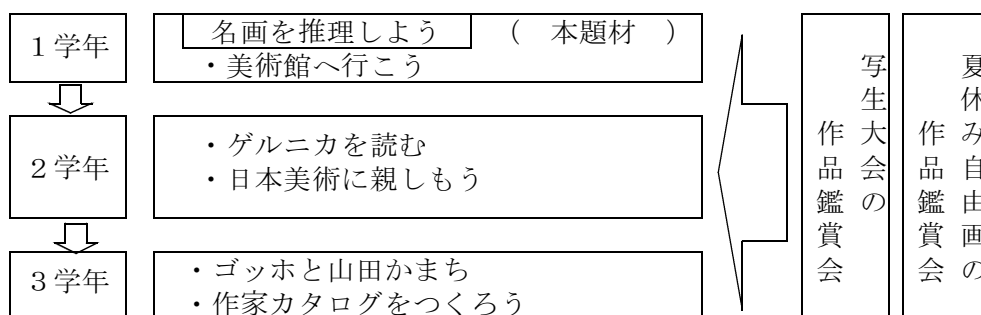
学習指導要領では、鑑賞を一層重視することが明記され、鑑賞教育の充実が求められている。鑑賞は、作品を通して作者のメッセージを自分なりに受け止め、自分の生活を豊かにしていく活動である。具体的には、他者の表現のよさや美しさを感じ取り味わったり、意図や工夫を読み取ったり、文化の違いとよさに気づき、互いのよさを尊重し合ったりするなど、一人一人の感性を高め、鑑賞の楽しさを味わわせる学習である。特に1学年では、鑑賞の基礎的能力を身に付けることや、鑑賞に親しむ態度をもつことがねらいである。鑑賞の楽しさや喜びを味わったり、積極的に鑑賞する意欲や自らの鑑賞の能力を高めようとする態度を育てることが大切である。

しかし、今までの鑑賞の指導をふり返してみると、作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫点などをワークシートをもちいて正解へと誘導するような受動的な鑑賞の学習がなされていた。また、想像力を働かせ、じっくりと味わうことよりも、作品や作者に関する知識を教えよ

うとする色合いが強い学習になっていたと感じる。鑑賞の視点は発問により指示され、作者の生き方や時代など、知識を得ることから作品の意味について解釈していく流れが多かった。それゆえ、鑑賞者である生徒の自由な見方や感じ方を尊重していなかったのではないかという思いがある。そして、美術作品に親しみ、その楽しさを味わうことが十分ではなかったと感じる。

本題材は、様々な美術作品から1点を選択し、それを詳しく見て発見したことや感じたことをもとに、作品の意図することを自分で推理していくというものである。まず、美術作品を比較鑑賞する中で、共通点を探したり、言葉にふさわしい作品を探しだすアートゲームに取り組み、作品を詳しく見る態度を身に付ける。共通している、言葉と内容が合っていると理由を具体的に説明することは、鑑賞の視点を明確にしたり、見つけたことや感じたことを言葉で表す習慣を付けることになる。そして、アートゲームで出会った作品から1点を選び、その作品の意図することを想像力を働かせながら推理していく。作品を見た印象や何が描いてあるのかを発表し合ったり、作品の中にある疑問点について話し合う活動の中で、友達の見方や感じ方の違いにふれ、自分の見方や感じ方を広げることができるであろう。また、友達と意見を交流し、疑問点について追求する中で、美術作品をただ見るのではなく、詳しく見たり、深く考えたりすることが、作品のよさや美しさ、作者の考えや表現の意図など作品の理解につながることを知ることができるであろう。このように、作品を詳しく見たり、想像力を働かせて作品の意図を読み解き、お互いに見方や感じ方を交流し合う活動に取り組むことは、主体的に鑑賞する態度を身に付け、美術作品の鑑賞の楽しさを味わうことができると考え、本題材を設定した。

### 3 題材の系統性



### 4 指導方針、支援及び留意点

- ・美術作品は、中学1年生にとって親しみやすく、材料や表現方法、作風など造形上の特徴や意味が分かりやすく、作者の表現意図が想像できるなどの観点から、ルネッサンス以降の作品を取り上げる。また、いろいろな作品に出会うことが大切であると考えるので、美術作品を2Lサイズのカードに加工して、生徒一人一人が手にとって見やすく、細部まで詳しく見られるよう工夫する。
- ・美術作品を読み解くための作品については、疑問点をもったり、自分なりの感性を働かせて豊かに想像したり、作者の意図を感じられるようなものを15点ほど教師が選択しておき、その中から選ばせるように図る。
- ・ふれる過程において、美術作品を比較鑑賞する中で、共通点を探す活動を通して、作品を細部まで詳しく見る態度を身に付けたり、また、言葉にふさわしい作品を探す活動を通して、自分の感性を豊かに働かせて、作品を見る態度を身に付けさせたい。また、この活動の中で、美術作品の見方や感じ方を率直に表現することを大切に、言葉で表現する習慣を付けさせたい。

- ・ゲームを取り入れることにより、美術作品を楽しみながら鑑賞させたい。
- ・絵合わせゲームでは、人と違う共通点を見つけることで、いろいろな視点から詳しく見る態度を主体的に身に付けさせたい。また、キーワードゲームでは、作品の印象をいろいろな視点から言葉で説明することで、言葉のイメージを広げ、想像力や表現力を高めたい。
- ・広げる過程において、美術作品を詳しく観察し、自分で発見したことをもとに、想像力を働かせ、何が描いてあるか推理していく活動では、鑑賞は一人一人の目と心と頭を使って作品に問いかけ、作品からの問いかけを聞き出そうとする活動であることを知らせ、正解を探すのではなく、自分の目と心と頭を使って十分に観察したり、自由に感じたりすることを大切にさせたい。
- ・美術作品の表現の疑問点について話し合う活動では、友達の見方や感じ方、考え方の違いを知ること、自分の世界を広げていけるよう、お互いの意見を尊重し合い、一人一人の意見を大切に聞けるよう支援したい。また、一人一人が率直に発言したり、論点を明確にした話し合い活動ができるよう、グループで役割分担をし、話し合う内容を明確にしたワークシートを活用して、話し合いが深まるよう図りたい。
- ・美術作品について、詳しく見たり、深く考える態度を養うことで、自分で作品を読み解く力を付け、そのことが鑑賞の楽しみとなるよう、一人一人の見方や感じ方を称賛し、自信をもたせることを心がけたい。あわせて、それを言葉や文章で表現する習慣を付け、鑑賞にかかわる表現能力を高めていきたい。

### Ⅲ 目標（研究報告書参照）

### Ⅳ 評価規準（研究報告書参照）

### Ⅴ 指導と評価の計画 の枠内は見通し は評価場面や評価方法

過程	時間	○ねらい ・主な学習活動	支援及び指導上の留意点	見通し	学習活動の具体的評価規準	
					美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
アートゲームによる鑑賞学習（1時間）						
ふ れ る	5分	○ アートゲームに取り組み、作品を詳しく見る態度を身に付ける。	・美術館に行った経験や知っている画家、作品について考え、美術作品を鑑賞する学習への意欲付けを図る。 ・ゲームでは多くの作品にふれられるルールを工夫する。	1	○美術作品に興味関心をもち、何が描いてあるか見ようとしている。 <b>十分満足できる状況とするキーワード</b> ・関心をもって ・詳しく <b>努力を要する生徒への手だて</b> ・個別に声をかけ、詳しく見る視点を示し、興味関心がもてるよう促す。 ◆A：詳しく見るよう促し、自分で見つけられるよう支援する。 ◆B：自分の素直な感じ方を称賛し、意欲を喚起する。	○美術作品を比較鑑賞し、共通点や言葉にふさわしい作品を見つけることができる。 <b>十分満足できる状況とするキーワード</b> ・色や形、技法などと関連させて ・自分なりの感性を働かせて <b>努力を要する生徒への手だて</b> ・個別に声をかけ、色や形、技法などを意識できるよう助言する。 ◆A：視点を教師が助言しながら見つけさせ、活動に参加するよう促す。 ◆B：選んだ理由を確認し、称賛することで自信をもたせ、発表できるように支援する。
	20分	①絵合わせゲーム ・2枚の作品の共通点を見つけ出し言葉で説明する。	・ゲームの中で他の生徒と違う共通点を探すことが作品を見る視点になることを理解し、作品を詳しく見る態度がもてるよう支援する。 ・作品の印象を色や形などから具体的に言葉で説明することを大切にし、作品の見方や感じ方を率直に表現できるよう支援する。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動の様子から</li> <li>・ワークシートの記述から</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言の内容、つぶやきから</li> <li>・ゲームの結果から</li> <li>・ワークシートの記述から</li> </ul> </div>
	20分	②キーワードゲーム ・言葉と作品を結び付け、その理由を説明する。				

ふりかえる	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業をふり返っての感想を書く。</li> <li>・本時の学習について話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時の学習をふり返っての感想が率直に書けるよう促す。</li> <li>・色や形、技法などから詳しく作品を見ることが大切であることをおさえたい。</li> </ul>		
名画を推理しよう（1時間）					
	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術作品を選び、何が描かれているか詳しく観察する。</li> <li>・グループで美術作品を1点選び、何が描かれているか推理することを知る。</li> <li>・役割分担を決める。</li> <li>・作品の選択</li> <li>・印象、何が描かれているか、疑問点について作品を詳しく観察しながら、ワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を推理したいと思うものをグループ代表が選び、共同して問題解決していく態度をもたせる。</li> <li>・最初の印象を大切にし、それが何から感じられるか、根拠となることを色や形などから詳しく観察していくよう促す。</li> <li>・見つけた事柄から想像力を働かせ何が描かれているかを記入するワークシートを活用する。</li> <li>・作品について疑問に思うことを探しだし、グループで追求する課題にしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで選んだ美術作品について、色や形、技法などから詳しく観察し、何が描いてあるか考えることができる。</li> <li><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></li> <li>・色や形、技法などと関連させて</li> <li>・詳しく</li> <li>・想像力を働かせ</li> <li><b>努力を要する生徒への手だて</b></li> <li>・個別に声をかけ、作品から受けた印象とその理由を聞きながら、どんなことが描かれているか考える手掛かりを助言する。</li> <li>◆A：見つけた事柄を聞き取り、それらを組み合わせながら、何が描かれているか自分の言葉で表現できるよう支援する。</li> <li>◆B：印象とその理由を聞き取り、称賛しながら自信をもたせ、さらに深く考えられるよう助言する。文章で書けるよう支援する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述から</li> <li>・発言の内容、つぶやきから</li> </ul> </div>
広げ	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の見方や感じ方を聞き、意見を交流し合う。</li> <li>・印象、何が描かれているかについて発表する。</li> <li>・友達の意見を聞く。</li> <li>○課題をもち共同して追求する。</li> <li>・疑問点について発表し、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で発表し合い、友達の見方や感じ方を知り、その理由となる根拠がどんなことから考えられているか理解し、作品の見方や感じ方を広げていけるよう支援する。</li> <li>・見方や感じ方の違いを感じながら、お互いの考え方や感じ方を尊重する態度をもたせるよう助言する。</li> <li>・疑問点が作品の意図を読み解く上で重要なポイントになっているか留意する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の発表から類似点や相違点を感じ取ろうとしている。</li> <li><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></li> <li>・進んで感じ取る</li> <li>・よさを認めながら</li> <li>・見方や感じ方の理由を理解して</li> <li><b>努力を要する生徒への手だて</b></li> <li>・友達の発表の理由について理解させ、自分の感じ方との違いに気づくよう促す。</li> <li>◆A：友達の見方や感じ方と類似点や相違点を見つけさせ、考えを広げていけるよう促す。</li> <li>◆B：自分の見方や感じ方を称賛し自信をもたせながら、友達との相違点に気づかせ、考えを広げていけるよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言の内容、つぶやきから</li> </ul> </div>
る	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の見方や感じ方、話合い活動から、改めて作品の意図することを推理していく。</li> <li>・何が描かれて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の見方や感じ方を大切にしながら、他の人の見方や感じ方、話合いなどから総合して、さらに多くの視点から、作品の意図することについて、考えをワ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品に込められた作者の思いや表現の意図を感じ、その理由を書いたり述べたりできる。</li> <li><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></li> <li>・根拠をもち</li> <li>・深く感じ</li> <li>・想像力を働かせ</li> </ul>

		いるか、その理由、作者が表現したかったことについて、ワークシートに記入する。 ・グループで発表し合う。 ・グループの代表が推理したことをまとめて発表する。	ークシートにまとめられるよう助言していく。 ・グループの代表者に発表してもらい、他の美術作品についても興味関心を持ち、鑑賞する意欲を高める。		・自分の言葉で <b>努力を要する生徒への手だて</b> ・個別に声をかけ、見方や感じ方の変化をとらえ具体的な考え方の助言をし、考えをまとめられるよう支援する。 ◆A：新たに見つけた事柄を加え、多くの視点から考えられるよう助言する。 ◆B：自分の感じ方を大切に、その理由を聞いていく中で自信をもたせ、積極的に文章表現できるよう図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;">           ・ワークシートの記述から         </div>
ふりかえる	5分	○本時の授業をふりかえり、自己評価する。 ・本時の学習で分かったことや感じたことをワークシートに記入する。	・本時をふりかえり、美術作品を鑑賞した感想を率直に書かせるワークシートを活用する。 ・色や形、技法などから詳しく作品を見たり、想像することで、美術作品の表現意図を考えることができることをおさえたい。	○美術作品の鑑賞に楽しく取り組むことができる。 <b>十分満足できる状況とするキーワード</b> ・美術作品に興味関心をもつて ・楽しく鑑賞できた ・さらに見たい <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;">           ・ワークシートの記述から         </div>	

## VI 本時の学習

### 1 本時のねらい

美術作品に興味関心を持ち、自分なりの感性を働かせて、いろいろな視点から作品を詳しく見る態度を身に付けることができる。

### 2 準備、資料

【教師】アートゲーム用カード キーワードカード ワークシート

【生徒】筆記用具

### 3 展開

過程	時間	○ねらい ・主な学習活動	指導・支援の工夫	見通し	評価の規準（評価方法 <input type="checkbox"/> ）	
					美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
アートゲームによる鑑賞学習（1時間）						
	5分	○本時の学習のめあてを知る。 ・アートゲームについて説明を聞く。	・美術館に行った経験や知っている画家、作品について考え、美術作品を鑑賞する学習への意欲付けを図る。 ・ゲームでは多くの作品にふれられるようルールを工夫する。			
	20分	①絵合わせゲーム ・ゲームの方法とルールの説明を聞く。 ・2枚の作品の共通点を見	・6人の男女混合グループをつくり、協力して取り組むことを知らせる。ゲームでは、同じ共通点が2回使えないことをルールとし、作品を	1	○美術作品に興味関心を持ち、何が描いてあるか見ようとしている。 <b>十分満足できる状況とするキーワード</b> ・関心をもって ・詳しく	○美術作品を比較鑑賞し、共通点や言葉にふさわしい作品を見つけることができる。 <b>十分満足できる状況とするキーワード</b> ・色や形、技法などと関連させて ・自分なりの感性を働かせて

ふ れ る	20 分	つけ出し言葉で説明する。	詳しく見ることが大切であることに気づかせるよう図る。	努力を要する生徒への手だて ・個別に声をかけ、詳しく見る視点を示し、興味関心がもてるよう促す。 ◆A：詳しく見るよう促し、自分で見つけられるよう支援する。 ◆B：自分の素直な感じ方を称賛し、意欲を喚起する。	努力を要する生徒への手だて ・個別に声をかけ、色や形、技法などを意識できるよう助言する。 ◆A：視点を教師が助言しながら見つけさせ、活動に参加するよう促す。 ◆B：選んだ理由を確認し、称賛することで自信をもたせ、発表できるよう支援する。
		②キーワードゲーム ・ゲームの手法とルールを聞く。 ・言葉と作品を結び付け、その理由を説明する。	・絵合わせゲームと同じグループで行うが、使用するカードを交換し、多くの作品にふれられるよう図る。 ・作品を見た印象を色や形などから言葉で説明していくために、言葉のイメージが広げられるよう、場合によっては言葉の意味を分かりやすく説明する。 ・想像力を働かせ感じたことを率直に表現できるよう支援する。また、なかなか説明ができない生徒には手掛かりを与え、ゲームに参加できるよう促す。		
ふ り か え る	5 分	○本時の授業をふり返っての感想を書く。 ・本時の学習について話を聞く。	・ワークシートに本時の学習をふり返っての感想が率直に書けるよう促す。 ・色や形、技法などから詳しく作品を見ることが、大切なことであることをおさえたい。		

## VI 本時の学習

### 1 本時のねらい

美術作品の表現意図について、自分自身で読み解いたり、友達の見方や感じ方を知ること  
で、美術作品の鑑賞の楽しさを味わうことができる。

### 2 準備、資料

【教師】アートゲーム用カード ワークシート 美術鑑賞資料（画集など）

【生徒】筆記用具 資料集

### 3 展開

過 程	時 間	○ねらい ・主な学習活動	指導・支援の工夫	見 通 し	評価の規準（評価方法 <input type="checkbox"/> ）	
					美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
名画を推理しよう（1時間）						
	5 分	○本時の学習のめあてを知る。 ・グループで美術作品を1点選び、何が描いてあるか推理することを知る。	・美術作品には作者からのメッセージが隠されていることを知らせ、詳しく観察し、想像力を働かせて、それを推理していくことを知らせる。 ・例を提示し、作品の見方や感じ方			

		は人により違うことを知らせ、自分の見方や感じ方を大切にしていこうと伝える。		
10分	<p>○美術作品を選び、何が描かれていて詳しく観察する。</p> <p>・役割分担を決める。</p> <p>・作品を1点選ぶ。</p> <p>・印象、何が描かれているか、疑問点について詳しく観察しながら、ワークシートに記入する。</p>	<p>・内容を推理したと思うものをグループの代表が選び、共同して問題解決していく態度をもたせる。</p> <p>・最初の印象を大切にし、それが何から感じられるか、根拠となることを色や形などから詳しく観察していくよう促す。</p> <p>・見つけた事柄から想像力を働かせ何が描かれているかを記入するワークシートを活用する。</p> <p>・作品について疑問に思うことを探しだし、グループで追求する課題にしていく。</p>	<p>・ワークシートの記述から</p> <p>・発言の内容、つぶやきから</p>	<p>○グループで選んだ美術作品について、色や形、技法などから詳しく観察し、何が描かれているか考えることができる。</p> <p><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></p> <p>・色や形、技法などと関連させて</p> <p>・詳しく</p> <p>・想像力を働かせ</p> <p><b>努力を要する生徒への手だて</b></p> <p>・個別に声をかけ、作品から受けた印象とその理由を聞きながら、どんなことが描かれているか考える手掛かりを助言する。</p> <p>◆A：見つけた事柄を聞きとり、それらを組み合わせながら、何が描かれているか自分の言葉で表現できるように支援する。</p> <p>◆B：印象とその理由を聞き取り、称賛しながら自信をもたせ、さらに深く考えられるよう助言する。文章で書けるよう支援する。</p>
広げられる 20分	<p>○友達の見方や感じ方を聞き、意見を交流し合う。</p> <p>・印象、何が描かれているかについて発表する。</p> <p>・友達の意見を聞く。</p> <p>○課題をもち共同して追求する。</p> <p>・疑問点について発表し話し合う。</p>	<p>・グループ内で発表し合い、友達の見方や感じ方を知り、その理由となる根拠がどんなことから考えられているか理解し、作品の見方や感じ方を広げていけるよう支援する。</p> <p>・見方や感じ方の違いを感じながら、お互いの考え方や感じ方を尊重する態度をもたせるよう助言する。</p> <p>・疑問点が作品の意図を読み解く上で重要なポイントになっているか留意する。</p>	<p>○友達の発表から類似点や相違点を感じ取ろうとしている。</p> <p><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></p> <p>・進んで感じ取る</p> <p>・よさを認めながら</p> <p>・見方や感じ方の理由を理解して</p> <p><b>努力を要する生徒への手だて</b></p> <p>・友達の発表の理由について理解させ、自分の見方や感じ方との違いに気づくよう促す。</p> <p>◆A：友達の見方や感じ方から類似点や相違点を見つけさせ、考えを広げていけるよう促す。</p> <p>◆B：自分の見方や感じ方を称賛し自信をもたせながら、友達との相違点に気づかせ、考えを広げていけるよう促す。</p> <p>・発言の内容、つぶやきから</p>	<p>○作品に込められた作者の思いや表現の意図を感じ、その理由を書いたり述べたりできる。</p> <p><b>十分満足できる状況とするキーワード</b></p> <p>・根拠をもち</p> <p>・深く感じ</p> <p>・想像力を働かせ</p> <p>・自分の言葉で</p>
10分	<p>○友達の見方や感じ方、話し合い活動から、改めて作品の意図を推理していく。</p> <p>・何が描かれているか、その理由、作者</p>	<p>・自分の見方や感じ方を大切にしながら、他の人から見方や感じ方、話し合いなどから総合して、さらに多くの視点から、作品の意図について考えをワークシートにまとめ</p>		

		<p>が表現したか つたことにつ いて、ワーク シートに記入 する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで 発表し合う。</li> <li>・グループの 代表が推理し たことをまと めて発表する。</li> </ul>	<p>れるよう助言して いく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの代表 者に発表してもら い、他の美術作品 についても興味関 心をもち、鑑賞す る意欲を高める。</li> </ul>		<p><b>努力を要する生徒への手だて</b> ・個別に声をかけ、見方や感 じ方の変化をとらえ具体的な 考え方の助言をし、考えをま とめられるよう支援する。 ◆A：新たに見つけた事柄を 加え、多くの視点から考えら れるよう助言する。 ◆B：自分の感じ方を大切に し、その理由を聞いていく中 で自信をもたせ、積極的に文 章表現できるよう図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>・ワークシートの記述か ら</p> </div>
ふ り か え る	5 分	<p>○本時の授業 をふり返り、 自己評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習 で分かったこ とや感じたこ とをワークシ ートに記入す る。</li> </ul>	<p>・本時をふりかえ り、美術作品を鑑 賞した感想を素直 に書かせるワーク シートを活用す る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形、技法な どから詳しく作品 を見たり、想像す ること、美術作 品の表現意図を考 えることができ たことをおさ えたい。</li> </ul>	<p>○美術作品の鑑賞に楽しく 取り組むことができる。 <b>十分満足できる状況とする キーワード</b> ・美術作品に興味関心をも って ・楽しく鑑賞できた ・さらに見たい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>・ワークシートの記述か ら</p> </div>	



# 名画を推理しよう

1年 組 ( )

作品名	
作者名	年代 ( ) 大きさ
<p>①この作品を見た印象は？（素直に感じたまま）</p> <p>-----</p> <p>②この作品はどんなことが描かれていますか。 （色や形、描かれているものから、いつ（季節や時刻）、どこで、誰が、何をしているか、どんな人か？など、考えてみよう。）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>③疑問に思ったことは何だろう。（たくさん見つけよう）</p> <p>★</p> <p>★</p>	
<p>④友達の見方や感じ方、グループでの話合いなどから、改めて、この作品で作者が表したかったことを推理してみよう。 （いつ、どこで、誰が（どんな人）、何を どうして・・・など、さらに想像してお話を考えよう。その根拠となった理由も書いてみよう。）</p> <p>この作品は→</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>そう考えた理由は→</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>作者が表現したかったことは</p> <p>-----</p> <p>ではないかと推理します。</p>	
⑤「名画を推理しよう」の感想を書きましょう。	<p>【自己評価】</p> <p>関心・意欲・態度    A    B    C</p> <p>詳しく鑑賞できた</p> <p>                          A    B    C</p>